

令和4年度 第2回 室蘭市入札・契約審議委員会 議事概要

1. 開催日時

令和5年2月24日 10:00

2. 開催場所

室蘭市役所本庁舎3階 議会第1会議室

3. 出席者

(委員)

■室蘭工業大学教授 木村 克俊

■税理士 田中 喜崇

■弁護士 本間 寛菜

(室蘭市)

■ 室蘭市入札・契約審議委員会事務局、建築管理課長、土木課主幹、下水道施設課主幹

4. 次第

・開会

・議題

報告事項 令和4年度上半期建設工事等に係る入札・契約手続の運用状況等について

審議事項 (1) 令和4年度上半期建設工事等に係る抽出事案について

(2) 次期抽出委員の指名について

5. 抽出事案審議結果

いずれも適正に執行されていると認める。

6. 決定事項

(1) 次回審議事案の抽出について

田中委員に審議事案の抽出を委任。

7. 意見交換・質疑応答等

(1) 報告事項について

[主な質疑応答]

特になし。

(2) 抽出事案について

工事 8件

ア 高落札率かつ随意契約となった一般競争入札6件

- 室蘭市立旭ヶ丘小学校校舎棟 LED 化工事
- 入江運動公園温水プール非常放送設備ほか改修工事
- 室蘭市立海陽小学校校舎棟 LED 化その1工事
- 室蘭市立海陽小学校体育館棟 LED 化工事
- 室蘭市立八丁平小学校体育館棟 LED 化工事
- 室蘭市立旭ヶ丘小学校体育館棟 LED 化工事

イ 市外業者かつ落札率100%の1者随意契約1件

- 室蘭市中島スポーツセンター冷凍圧縮機改修工事

ウ 高落札率の総合評価落札方式1件

- 室蘭市サンライフ外部改修工事

委託 2件

ア 低落札率の一般競争入札1件

- 令和5年度東町たいわ団地市営住宅建替実施設計委託

イ 少ない申請者数となった一般競争入札1件

- 室蘭市公共下水道ストックマネジメント管路施設点検調査業務委託

.....

- 室蘭市立旭ヶ丘小学校校舎棟 LED 化工事
- 入江運動公園温水プール非常放送設備ほか改修工事
- 室蘭市立海陽小学校校舎棟 LED 化その1工事
- 室蘭市立海陽小学校体育館棟 LED 化工事
- 室蘭市立八丁平小学校体育館棟 LED 化工事
- 室蘭市立旭ヶ丘小学校体育館棟 LED 化工事

[主な質疑応答]

本間委員	単価設定について、北海道の単価、刊行物の単価、見積書の徴収等により設定しているということだが、単価を設定する際は、すべて確認して総合的に判断して決定しているのか工事ごとで参考にするものが異なるのか。
建築管理課長	最優先されるのは、北海道建設部営繕工事積算標準単価表に基づいて、それに掲載されている単価を採用する。単価表に掲載されていないものがある場合については、刊行物の単価や見積もりをとって単価を採用している。

本間委員
建築管理課長
見積もりをとる場合は、こういったところでののか。
今回抽出の旭ヶ丘小学校と海陽小学校の校舎棟の LED 化工事だと、
照明設備になるため、三菱電機やパナソニック、東芝から見積もりを
とっている。

本間委員
田中委員
承知した。
随意契約の相手先について、2回目で一番低額となった業者と随意契
約をするという流れだと思うが、例えば同日の入札で、1件目で随意
契約となり落札した業者が、2回目でも一番低額となった場合は、2
件目も同じ業者と随意契約となるのか。

総務課主幹
電気工事については、同日落札制限がかからないため、最低入札者で
あれば、同じ業者で2件目も落札となる可能性がある。

田中委員
総務課主幹
土木、建築については、制限があるのか。
土木、建築については、同日落札制限を設定しているため、1件目で
落札した業者は2件目以降は入札に参加する資格がなくなる。

田中委員
1件目で随意契約となった業者は、2件目の入札には参加していない
ということか。

総務課主幹
田中委員
そのとおり。
承知した。電気工事で同日落札制限を設けていないのはこういった趣
旨か。

総務課主幹
業者数や工事の発注件数が土木、建築と異なる部分があり、電気工事
で制限を設けてしまうと落札者がいなくなったり、工事ができる業者が
いなくなるケースがあるため、工事の発注件数が多い、土木や建築の
2工種で制限を設けている。

田中委員
木村委員
承知した。
2回目でも予定価格を上回ってしまった場合、1番価格の低い業者と
不落随契だと思うが、2回目で1番価格の低い業者が複数いた場合ど
うなるのか。

総務課主幹
同額の複数者で、見積もり合わせをする。それでも同額の場合は、そ
れを繰り返して行う。価格差がついている場合は、最低入札者と随契
は問題ないが、複数者同額の場合は、特定の1者と契約する
ことは問題があるため、そのなかで、どこの業者と契約する
かという作業が必要になると考える。

木村委員
承知した。今回は、2回目の最低入札者と予定価格範囲内の契約がで
きたため良いと思うが、もし予定価格範囲内でできないとなった場合
はどのようにするのか。

総務課主幹
設計内容の見直しをして、再入札とする。

木村委員 そうした場合は、日数はどのくらいかかるのか。
建築管理課長 金額にもよるが、今回の規模だと1ヶ月ほどかかる。
木村委員 2回で落札とならなかった理由として、電子部品の生産の遅れや納期が見通せないこと、部品の価格高騰が理由ということだが、この理由が大きいと考えるか。
建築管理課長 道の単価表に載っていないものは見積もりをとり、納期の確認を行うが、メーカーもオーダーがないと確定した納期が出せない場合が多い。特に電気工事に関しては、部品の納期遅延が工事を発注するうえで重要なポイントとなると考える。
木村委員 承知した。部品の納期については、全国的な問題だと思う。したがって、その理由が大きいようであれば、来年度以降は多少改善されるのではないかと考えているため注視していきたい。

○室蘭市中島スポーツセンター冷凍圧縮機改修工事

[主な質疑応答]

本間委員 予定価格と落札額が同額で落札率100%となっているが、よくあることか。また、見積もりが簡単なものなのか。
建築管理課長 落札率100%の頻度だが、これまではあまりない。見積もりに関しては、保守点検等を請け負っている業者からとって、単価の妥当性を判断し、予定価格を設定している。
本間委員 単価の妥当性の判断は具体的にどのように行っているのか。
建築管理課長 今回冷凍圧縮機という特殊な機械のため、北海道の営繕工事単価表には掲載されていない。刊行物の単価から似たものを探し、その単価とかけ離れていないかを判断している。見積もり額が高額であれば、調整率を乗じて単価を策定している。
本間委員 承知した。
木村委員 スクリュー圧縮機2基の撤去新設、IPM モーター2基の撤去新設という内容で機器の価格が決まっているものは積算しやすいことと作業する人数や日数からもある程度価格を予測できたため、予定価格と乖離がなかったということに理解した。

○室蘭市サンライフ外部改修工事

[主な質疑応答]

本間委員 総合評価について、自社の評価や全体でどの位置にいるか分かるの

か。

総務課主幹 技術評価点について、自社の評価点は審査の結果をお渡ししている。他社の評価点については、これまでの入札結果を参考にしてもらっている。

本間委員 承知した。

田中委員 他社に公表しない理由は、公表したほうが、他社との差を埋めるための努力するのではないか。

総務課主幹 入札後には公表しているが、入札前に公表すると入札に影響が出てしまう可能性があるため公表していない。

木村委員 過去の工事成績評定点について、公開しているのか。

総務課主幹 当該業者には通知しているが、他社の分は公開していない。

木村委員 自社の評価について質問がきた場合は、お答えしているか。

総務課主幹 お答えしている。

木村委員 総合評価での入札は何件程度行われているのか。

総務課主幹 令和5年4月から総合評価の入札を増やしていて、令和5年度からはAランク単体については、すべての工事で総合評価を導入する。土木、建築それぞれ4～5件程度を予定している。

木村委員 上半期に発注は集中するのか。

総務課主幹 比較的大きな工事となるため工期が長くなる傾向にあり、上半期に集中すると思われる。

木村委員 承知した。総合評価を増やしていくなかで、課題等が見えてくると思うので、引き続き件数を確保しながら進めていただきたい。

○令和5年度東町たいわ団地市営住宅建替実施設計委託

[主な質疑応答]

本間委員 継続性のある委託については、過去に委託の経験がある業者が予定価格より低く落札することが多いのか。

建築管理課長 今回が5棟目の委託となるが、今までの1～4棟目に関しても平均すると79%程度の落札率となっている。今回落札した業者も平成29年度に発注した3棟目の委託を受注していた業者である。過去の1～4棟目までの設計のデータがあると転用できるため安くなる傾向があると考えます。

本間委員 承知した。

○室蘭市公共下水道ストックマネジメント管路施設点検調査業務委託

[主な質疑応答]

- 本間委員 入札参加資格区分について、工事の内容にも鑑みて、広めに設定しているということだが、仮にこれでも申請者がいない場合は、地域要件や実績を見直して再度行うのか。
- 総務課主幹 地域要件について、北海道内としているのは室蘭市としては広くとっている。これでも、応札者がいない場合は北海道内という条件をとり、さらに範囲を広げるしかないと考えるが、営業拠点が北海道内にないところでも業務が円滑に進むものか発注課と協議の上、進めていかなければいけないと考える。
- 本間委員 承知した。
- 木村委員 点検調査委託業務については、毎年行うのか。
- 下水道施設課主幹 通常は毎年行うが、下水道の距離が膨大なため年数を分けて行っている。
- 木村委員 技術的に難しい部分が含まれていると考えてよろしいか。
- 下水道施設課主幹 そのとおり。
- 木村委員 入札に参加した２者とも全国展開している会社で札幌に技術者がいるところだが、そのような業者がそれほど多くない分野だと考える。業者数が少ないのはやむを得ない部分があると考え。来年以降も発注する予定はあるのか。
- 下水道施設課主幹 そのとおり。
- 木村委員 承知した。